

2018年(平成30年)1月30日

火曜日

江戸時代の中津藩医で蘭学者、前野良沢が愛好した縦笛「一節截」を使ったコンサートが28日、大江医家史料館(中津市鷹匠町)であった。市教委文化財室が企画。市内のグループ「中津・一節截の会」(川寫真人会長)が演奏した。集まった約20人に川寫會長が一節截の歴史などを解説。「演奏は難しいが、心の内面が表れる魅力のある楽器。中津の古いまちだからこそ残る一節截を一緒に楽しんで」と呼び掛け、会員13人で古典

いにしえの音色 一節截の魅力

中津市でコンサート

曲「伊勢踊り」や「荒城の月」など6曲を奏でた。市内上如水の会社員中島正治さん(60)は「一節截の演奏を聴くのは初めて。一人一人の音色が合わさり、重厚な感じがしてよかった」と話していた。同史料館では、日本初の本格的西洋医学翻訳書「解体新書」を手掛けた良沢を主人公としたNHK正月時代劇(1日放送)にちなんだ特別展示を開催中。良沢の時代に使用された一節截も展示している。2月12日まで。



一節截を演奏する愛好家＝中津市鷹匠町